事業番号 2023 - 文科 - 22 - 0052

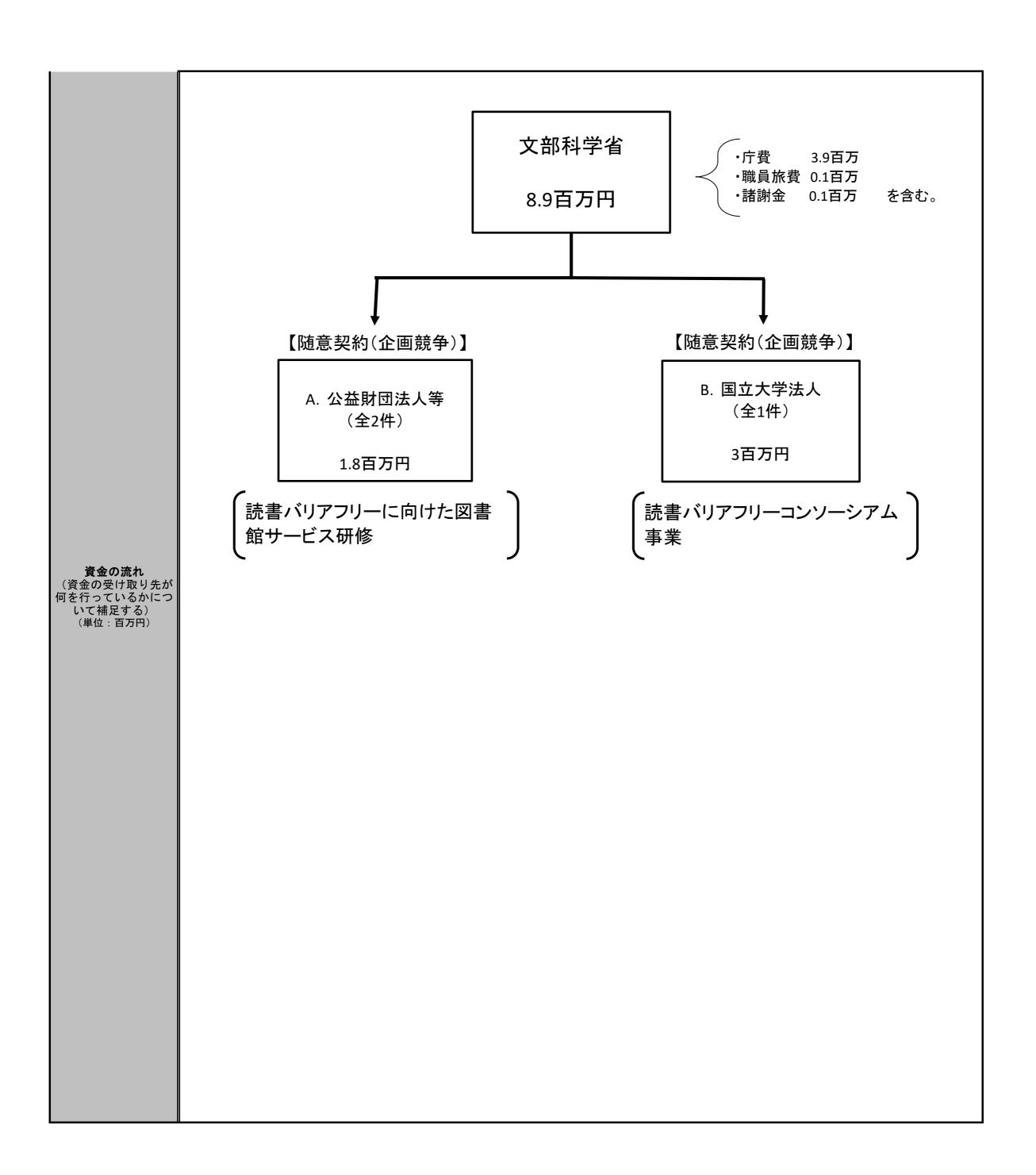
						事業番号	2023 –	文科 - 22	- 0052			
			令和5	年度行政	対事業レビ:	ューシート	(文部科	学省			
事業名	図書館におけ	ける障害者		- W. A.L		担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者			
事業開始年度	令:	和2年度		(業終了 (定)年度	終了予定	なし 担当課室	地域学習推進課		地域学習推進課長 高木 秀人			
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			書環境の整備の 進等に関する法律		法律	関係する 計画、通知等						
 政策	1 新しい時代	弋に向けた	数育政策の推進				(In the 1 · 7 · 7 · 7					
施策	1-5 家庭•地	域の教育力	力の向上			主要経費		教育振興助成費	B.			
饭饭店。」「我你不可能。」「我你不可能的。」「我们的我们的我们,我们就会看到我们的我们的。」「我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我们的我	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-5.pdf 平成30年の通常国会におけるマラケシュ条約の批准の承認や、平成31年度通常国会における「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)の可認											
事業の目的 (5行程度以内)	成立、令和2	2年7月の「 字・活字文	「視覚障害者等の語 :化の恵沢を享受す	書環境の整備	の推進に関する	基本的な計画」(読書バリス	アフリー基本計画)策定等を	登偏の推進に関する法律」 を踏まえ、障害の有無にかか 無にかかわらずすべての国	かわらずすべての国民が	読書		
現状・課題 (5行程度以内)	環境が整備関・団体との公共図語 3,18 〇サピエ図 登録	されている)連携によ 書館におい 38,060冊 図書館登録 录団体数:	るとは言い難い状況 るサービスの向上 ナる視覚障害者等月	とにある。このた に努める必要だ 用資料(大活字 は、視覚障害者 ち公立図書館:	zめ、視覚障害者 がある。 本、点字図書等、 を始め、文字を読 255館、盲学校:	等、多様な利用者の利用を 録音図書)の冊数 むことが困難な方々に対して	任進するため、図書館等	会図書館調べ)もあり、視覚は、自館における視覚障害: は、自館における視覚障害: 声データなどで提供するネット	者等用資料等の充実や原			
事業概要 (5行程度以内)	視覚障害者 や実態調査 読書器、DA	:等の図書 ∵事例の↓ ISY再生機	収集等を行う。また.	ビスの充実を図 、司書、司書教 に習熟するため	図るため、有識者、 な諭・学校司書、職)の研修等を行う	戦員、ボランティアが障害者 。加えて、障害者の図書館	サービスの内容を理解し、	の関係者で構成される委員: 支援方法を習得するための D育成や環境の整備を行う。	の研修や、読書支援機器	に拡え		
事業概要URL	https://www	w.mext.go.	jp/content/202303	28-mxt_kouho	u01-000024735_1	.pdf						
	直接実施、	 委託·請	 i負									
実施方法 補助率等	直接実施、	委託·請	負									
	直接実施、	委託•請	i負		·和9年度	○和2年度	△和4年度	△和5年度	△			
	直接実施、			令	·和2年度	令和3年度 16.5	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	犮		
	直接実施、	<u> </u>	当初予算(A)	令	·和2年度 17.4 -	令和3年度 16.5 -	令和4年度 14.1 -	令和5年度 12.2 -	令和6年度要求			
	直接実施、	<u> </u>		令		1 111 7 124		1 1 1 3 1		技		
	直接実施、	<u> </u>	当初予算(A)	令		1 111 7 124		1 1 1 3 1				
	直接実施、	<u> </u>	当初予算(A)	令		1 111 7 124		1 1 1 3 1				
	- 予算の	<u> </u>	当初予算(A)	令		1 111 7 124		12.2 - - -		求		
補助率等		<u> </u>	当初予算(A)	令		1 111 7 124		12.2 - - -				
補助率等 予算額・ 執行額 (単位:百万円)	- 予算の	i i	当初予算(A)			1 111 7 124		12.2 - - -				
補助率等 予算額- 執行額	予算の	前年原	当初予算(A) 甫正予算(B)	令		1 111 7 124		12.2 - - -				
補助率等 予算額• 執行額 (単位:百万円)	予算の	前年原翌年	当初予算(A) 浦正予算(B) 度から繰越し(C) 度へ繰越し(D) 予備費等(E)	令		1 111 7 124		12.2 - - -				
補助率等 予算額• 執行額 (単位:百万円)	予算の	前年原翌年	当初予算(A) 浦正予算(B) 度から繰越し(C) 度へ繰越し(D)			1 111 7 124		12.2 - - -				
補助率等 予算額• 執行額 (単位:百万円)	予算の	前年原 翌年 =(A)+	当初予算(A) 浦正予算(B) 度から繰越し(C) E度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F)		17.4 - - -	16.5 	14.1 - - -	12.2	12.4			
補助率等 予算額• 執行額 (単位:百万円)	予算の	前年原 翌年 =(A)+1 執行	当初予算(A) 浦正予算(B) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		17.4 - - - - 17.4	16.5 16.5	14.1 - - - - 14.1	12.2	12.4			
補助率等 予算額• 執行額 (単位:百万円)	予算の状況	前 翌 「子」 =(A)+「 執 行。 =(G) +補 正割	当初予算(A) 浦正予算(B) 度から繰越し(C) 注度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) (B)+(C)+(D)+(E) 「額(G)		17.4 - - - 17.4 13.8	16.5 16.5 16.5 12	14.1 14.1 8.9	12.2	12.4			
補助率等 予算額• 執行額 (単位:百万円)	予算の状況	前 翌 二 (A)+	当初予算(A) 浦正予算(B) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	頃の	17.4 - - - 17.4 13.8 79%	16.5 16.5 12 73%	14.1 - - - 14.1 8.9 63%	12.2 12.2 上な増減理由(・要望額・3	12.4			
補助率等 予算額• 執行額 (単位:百万円)	予算の状況	前 翌 二 (A)+	当初予算(A) 浦正予算(B) 度から繰越し(C) 速度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) (B)+(C)+(D)+(E) で額(G) 率(%) ぶ)/(F) 算に対する執行 な(%) (A)+(B)}	頃の 令和5年	17.4 - - - 17.4 13.8 79%	16.5 16.5 12 73%	14.1 - - - 14.1 8.9 63%	12.2 12.2	12.4			
補助率等 予算額• 執行額 (単位:百万円)	予状のの当初予算・	前 翌 二 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	当初予算(A) 講正予算(B) 要から繰越し(C) 注度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) (B)+(C)+(D)+(E) (A)+(B) (A)+(B)} 算項・目 教育政策推進事業委	東の 令和5年	17.4 - - - 17.4 13.8 79% 79% 平度当初予算 7.9	16.5 16.5 12 73%	14.1 - - - 14.1 8.9 63%	12.2 12.2 上な増減理由(・要望額・3	12.4			
補助率等 予算額・ 執行額 (インプット)	予状のの当初予算・	前 翌 (A)+ (A) + (A) + (B) - (B) -	当初予算(A) 調正予算(B) 要から繰越し(C) 速度へ繰越し(D) 予備費等(E) 計(F) (B)+(C)+(D)+(E) (A)+(C) (A)+(B) (A)+(B) (A)+(B) (A)+(B) (A)+(B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B)	東の 令和5年	17.4 - - - 17.4 13.8 79% 79% 平度当初予算 7.9 3.4	16.5 16.5 12 73% 73% 今和6年度要求	14.1 - - - 14.1 8.9 63%	12.2 12.2 上な増減理由(・要望額・3	12.4			
補助率等 予算額・ 執行額 (単位: コプット)	予状のの当初予算・	前 翌 (A)+ (有) (有) (日) (日) (日)	当初予算(A) 書が予算(B) をから繰越し(C) でででででででである。 をででである。 をででである。 をでである。 をできる。 をでをできる。 をでをできる。 をでをでをできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。	東の 令和5年	17.4 - - - 17.4 13.8 79% 79% 平度当初予算 7.9 3.4 0.4	16.5 16.5 12 73% 73% 今和6年度要求 8 4 0	14.1 - - - 14.1 8.9 63%	12.2 12.2 上な増減理由(・要望額・3	12.4			
補助率等	予状のの当初予算・	前翌 =(A)+ 行 (G) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F) (F	当初予算(A) 書初予算(B) 要から繰越し(D) 操越し(D) 予備書(F) (B)+(C)+(D)+(E) (A)+(B) (A)+(B) (A)+(B) (A)+(B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B)	東の 令和5年	17.4 - - - 17.4 13.8 79% 79% 79% 79% 79% 40.4 0.4 0.3	16.5 16.5 12 73% 73% \$ \$ 4 \$ 0 \$ 0 \$ 0 \$ 0 \$ 0 \$ 0 \$ \$ 0	14.1 - - - 14.1 8.9 63%	12.2 12.2 上な増減理由(・要望額・3	12.4			
補助率等	予状のの当初予算・	前 翌 (A)+ (有) (有) (日) (日) (日)	当初予算(A) 書が予算(B) をから繰越し(C) でででででででである。 をででである。 をででである。 をでである。 をできる。 をでをできる。 をでをできる。 をでをでをできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。	東の 令和5年	17.4 - - - 17.4 13.8 79% 79% 平度当初予算 7.9 3.4 0.4	16.5 16.5 12 73% 73% 今和6年度要求 8 4 0	14.1 - - - 14.1 8.9 63%	12.2 12.2 上な増減理由(・要望額・3	12.4			

	5動内容① クティビティ)	読書バリアフリーに関する司書、司書教	諭・学校司書等向け研修を実施	する自治体	等への支持	爰				
	1									
活動目に	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	1	読書バリアフリーに関するモデル研修 の実施	委託事業を実施する自治体等 数		自治体等	2	2	2 2	2	-
1	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	委託事業の活用により、自治体等が研 を設定した。	修を実施するようになり、読書バ り	Jアフリーに	向けた支持	爰方法等を理算	解するものが均	曽えると考えるカ	こめ、下記の短	豆期アウトカム
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度 年度
戊果目	標及び成果実績 ①-1	読書バリアフリーに向けた支援方法等	きまぶリマフリ に向けたす	成果実績	人	-	-	-		-
(短期	朝アウトカム)	(*)に理解が深まった研修参加者の増		目標値	人	-	-	-		_
		DD 	修参加者数	達成度	%	-	-	-		_
1	成果目標①-2の 設定理由									
	(短期マウトカル	読書バリアフリーに向けた支援方法等を ※本事業の長期アウトカムの発現経路トカム①~②の効果として発現するもの	は、アクティビティ①~②が相互!							
	(短期アウトカム からのつながり)	※本事業の長期アウトカムの発現経路トカム①~②の効果として発現するもの成果目標	は、アクティビティ①~②が相互!						標①-3につい	でも短期アウ
注果目	(短期アウトカム	※本事業の長期アウトカムの発現経路トカム①~②の効果として発現するもの成果目標	は、アクティビティ①~②が相互I となっている。		各長期アウ単位	トカムが発現す	するものとなっ	ており、成果目	標①-3につい	でも短期アウ
	(短期アウトカム からのつながり) 標及び成果実績 ①-3	※本事業の長期アウトカムの発現経路トカム①~②の効果として発現するもの成果目標	は、アクティビティ①~②が相互I となっている。	こ作用して行	各長期アウ単位	トカムが発現で	するものとなっ	ており、成果目	標①-3につい 目標最	でも短期アウ
	(短期アウトカム からのつながり) 標及び成果実績 ①-3	※本事業の長期アウトカムの発現経路トカム①~②の効果として発現するもの成果目標	は、アクティビティ①~②が相互I となっている。 定量的な成果指標	で作用して	各長期アウ単位団体	トカムが発現で 令和2年度 422	するものとなっ 令和3年度 435	ており、成果目 令和4年度 459	標①-3につい	でも短期アウ 終年度 - 年度
(長 ^其 世 世 世 実 表 一 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	(短期アウトカム からのつながり) 標及び成果実績 ①-3 朝アウトカム) 績及び目標値の	※本事業の長期アウトカムの発現経路トカム①~②の効果として発現するもの成果目標サピエ図書館の登録館数の増加サピエ図書館調べ	は、アクティビティ①~②が相互I となっている。 定量的な成果指標	成果実績目標値	各長期アウ 単位 団体 団体	トカムが発現で 令和2年度 422 382	するものとなっ 令和3年度 435 422	ており、成果目 令和4年度 459 435	標①-3につい	でも短期アウ 終年度 - 年度 -
《長 域果実 級無 根拠 統計•→ /定性的	(短期アウトカム からのつながり) 標及び成果実績 切-3 朝アウトカム) 様として用いた データ名(出典) りなアウトカムに	※本事業の長期アウトカムの発現経路トカム①~②の効果として発現するもの成果目標サピエ図書館の登録館数の増加サピエ図書館調べ	は、アクティビティ①~②が相互I となっている。 定量的な成果指標	成果実績目標値達成度	各長期アウ 単位 団体 団体 %	トカムが発現で 令和2年度 422 382 110.5	するものとなっ 令和3年度 435 422 103.1	ており、成果目 令和4年度 459 435	標①-3につい	でも短期アウ 終年度 - 年度 -
《長期 水果実拠 統計・デ /定関す	(短期アウトカム からのつながり) 標及び成果実 (①-3 朝アウトカム) は関係に 関係 (1) では (1)	※本事業の長期アウトカムの発現経路トカム①~②の効果として発現するもの成果目標サピエ図書館の登録館数の増加サピエ図書館調べ	は、アクティビティ①~②が相互にとなっている。 定量的な成果指標 サピエ図書館の登録館数	成果実績目標値達成度	各長期アウ 単位 団体 団体 %	トカムが発現で 令和2年度 422 382 110.5	するものとなっ 令和3年度 435 422 103.1	ており、成果目 令和4年度 459 435	標①-3につい	でも短期アウ 終年度 - 年度 -
《長期 成果実組 統計・デ /定性的 関す	(短期アウトカム からのつながり) 標及び成果実績 切ー3 明アウトカム が目標に データ名 (出土) 付なアウトカム に する成果実績	※本事業の長期アウトカムの発現経路トカム①~②の効果として発現するもの成果目標サピエ図書館の登録館数の増加サピエ図書館調べ	は、アクティビティ①~②が相互にとなっている。 定量的な成果指標 サピエ図書館の登録館数	成果実績を放ける。このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	各長期アウ 単位 団体 団体 %	トカムが発現で 令和2年度 422 382 110.5	するものとなっ 令和3年度 435 422 103.1	ており、成果目 令和4年度 459 435	標①-3につい	でも短期アウ 終年度 - 年度 -

	「動内容② ・クティビティ)	読書バリアフリーに向けたコンソーシアム	▲を設置する自治体等への支援										
	1												
活動日	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込			
	② (ウトプット)	読書バリアフリーの周知に向けたフォー ラムの開催	読書バリアフリーの周知に向 けたフォーラムの開催数	活動実績当初見込み	0	-	3	1 2	- 2	-			
	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット	委託事業の活用により、自治体等がフォ		書バリアフ	リーに向け	けた支援方法等	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	のが増えると考	えるため、下	記の短期アウ			
Y	からのつながり)	トカムを設定した。							P to	栗年度			
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	日传	≂ 年度 - 年度			
	標及び成果実績 ②-1	読書バリアフリーに向けた支援方法等	読書バリアフリーに向けた支	成果実績	人	-	-	-		_			
(短期	タグワトカム)	(*)に理解が深まったフォーラム参加 者の増加	援方法等に理解が深まった フォーラム参加者数	目標値	人	_	-	-		_			
		1400年加	フォープム参加有数	達成度	%	-	-	-		_			
↓	成果目標②-2の 設定理由	・公共図書館の所蔵資料の提供(視覚 読書バリアフリーに向けた支援方法等を えられるため、下記の長期アウトカムを記 (※図書館等が製作し国立国会図書館が 経由で送信するサービスのこと) ※本事業の長期アウトカムの発現経路に トカム①~②の効果として発現するものの	理解する者が増加することで、「 役定した。 が収集した視覚障害者等用デー は、アクティビティ①~②が相互(タ(DAISYデ	一夕、点字	マデータ等)を、	視覚障害者等	₹個人の方や他	の図書館等に	ニインターネッ			
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標昻	最終年度 - 年度			
	標及び成果実績 ②-3		国立国会図書館による視覚障	成果実績	団体	153	205	239					
(長期	リアウトカム)	■国立国会図書館による視覚障害者等用 データサービスの送信承認館数の増加	国立国会区書館による祝見降 害者等用データサービスの送 信承認館数数	目標値	団体	133	153	205		_			
			百 小 心	達成度	%	115	134	116.6		_			
根拠 統計•元 定性的	績及び目標値の として用いた データ名(出典) 内なアウトカムに る成果実績	国立国会図書館調べ											
			アクティビティ②につい	ハて定性的な	なアウトカ	ムを設定してい	る理由						
							,						
アウトカ	ム設定について の説明		アクティビティ②につ	こしてアウト	カルが始	数設定できない	\ 理中						

	5動内容③ ブクティビティ)	読書バリアフリーに関する司書、司書教	諭・学校司書等向け研修を実施	する自治体	等への支	援【再掲】					
	1										
活動日:	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込		年度 加見込
	3	読書バリアフリーに関するモデル研修	委託事業を実施する自治体等	活動実績	自治体等	2	2	2	-		_
	J10 J10	の実施【再掲】 	数【再掲】	当初見込み	自治体等	2	2	2	2		_
1	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	委託事業の活用により、自治体等が研 を設定した。【再掲】	多を実施するようになり、読書 <i>バ</i> リ	Jアフリーに	二向けた支持	援方法等を理	解するものがり	増えると考える	ため、下記の知	豆期アウ	ウトカ <i>ム</i>
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	票年度 -	年度
	標及び成果実績 ③-1	読書バリアフリーに向けた支援方法等	読書バリアフリーに向けた支	成果実績	人	-	-	-		-	
(短其	朝アウトカム)	(*)に理解が深まった研修参加者の増	援方法等に理解が深まった研	目標値	人	_	_	-		_	
		加【再掲】	修参加者数【再掲】	達成度	%	-	-	-		-	
1	設定理由(短期アウトカム	読書バリアフリーに向けた支援方法等を定した。 ※本事業の長期アウトカムの発現経路にトカム①~②の効果として発現するもの	ま、アクティビティ①~②が相互Ⅰ								
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最	最終年度 6	を 年度
以果目	標及び成果実績 ③-3			成果実績	m	-	3,188,060	-		-	
(長邦		全国の図書館が保有する視覚障害者 用資料数の増加	全国の図書館が保有する視覚 障害者用資料数	目標値	m	-	-	-	3,46	31,588	
				達成度	%	-	-	-		-	
根拠 統計・ 定性的	績及び目標値の として用いた データ名(出典) りなアウトカムに 「る成果実績	社会教育調査(文部科学省) ※3年ごと調査であり、次期調査は令利 ※本調査における視覚障害者用資料。 ※令和6年度(次期調査)の目標値は全	とは、録音図書、点字図書等(点	いら令和3年	度の伸び)	•		拡大図書など)	の総数。		
'ウトカ	ム設定について の説明	_	アクティビティ③につ	Oいてアウト	小カムが複数	枚設定できなし	\ 理由				
		_									

	名称	_																							
事業に関連する KPIが定められて	URL	_																							
いる閣議決定等	該当箇所	-																							
								事業所	近	易に	よる点	ⅰ検・改割	•												
点検結昇	Į	する体制ニーズを・また図書音及する・短期する・長期アウ	の整しました。	構や図書したもの。 おける♪ おあるた ムにつし ムにつし	フリー法」に 書館における きなっている 章書国が適切 いては、定を始いては いてし いてし いて いて いて の 一 般 の の の の の の の の の の の の の の の の の	障害者サ この実態 合的に推済な事業効けない なあた項目 年度に向	現聴覚え ・ ・ ・ 調でいまで ・ ・ は に の に の に に の に に の に に の に に の に に の に の に に に に に に に に に に に に に	音等の図 人材の可 を事例の を を を を を に に 推 で に に に に に に に に に に に に に に に に	図書館育成を)収集 のがあるのかに かいこう あいこう あいこう おいこう おいこう おいこう おいこう おいこう おいこう おいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう か	利用に 図る 等を行 。 和5年	に係る* ものでも ういその F度から	ナービスで あり、社会)成果を含 新たに事	を提供の全国へ	Γ	標年	きにお	。 おける	る効!	果測定	とに関す	する評	·····································	会和 7 <i>5</i>	年度実	施)
改善の 方向性		ンケートの	の実施	を義務	ハて、事業郊 付けた。 めに、応札													·····································	する自治	 治体等	に対し	、参加	者を対	象にした	:ア
									外部	有識	者の所	 ·見													
外部有識者による	る点検対	———— 象外																							
						行政事	事業レビ	ニュー推	推進チ	<u>-</u>	の所見	に至る	過程》	及び原	听見										
事業内容の一	部改善		は前年	丰度に引	き続き不要	が生じて	いるため	り、令和	6年度	大概算	要求に	おいても	不用額	真につ	いての	要因る	を分れ	テした .	上で、予	予算執行	テの実	績を適	切に反	映すべ	ŧ
		である。				所目	を踏ま	えたみ	善占	/概律	で要す	こおける	万肿:	状況											
年度内に改善	を検討	所見を踏	まえ、	事業の	着実な実施	や適切か	つ効果	的な予算	算執行	のた	めの一	層の工夫	を図る	522 1	して、台	3和5年	53月	に策定	ミした「	第五次·	子どもの	の読書	活動拍	推基本	計
一大人という	(اجرا <u>ک</u>	画(R5~I	R9) J0	の取組指	進進のために																				
						公開プロー	セヘ・か	の年を	火公用	例快副	上(秋の	レビュー	-) (517 G	纵りる	.∠α)									
		-																							
									上記	2へ の	の対応	状況 ———													
		_																							
過去に受けた指 と対応状法																									
									そ0	り他の	の指摘	事項													
		-																							
									 F =	7~ <i>(</i>	の対応	北 沪													
										P. 40	/ / // // // // // // // // // // // // /	V())L													
		-																							
										備	考														
_																									
							関連	重する過	去の	レビュ	レーシー	トの事業	番号												
平成23年度	_																								
平成24年度	_																								_
平成25年度	_																								_
平成26年度	_												<u> </u>												_
平成27年度	_												-												_
平成28年度	_						-																		
平成29年度	_																								_
平成30年度				<u> </u>	ı	1	-	, ,		, ,		1			-	- 1	ı	- 1	1		1 1	·	<u> </u>	, , ,	_
令和元年度	文部科学	当 -	新32	! -	0004			$\perp \downarrow \downarrow$		$\perp \downarrow$							\downarrow				$\downarrow \downarrow$			$\perp \downarrow \downarrow$	_
令和2年度	文部科学	省	新02	!	0004				г								_							$\perp \downarrow \downarrow$	_
令和3年度	2021	文科		20	0045								<u> </u>	\perp			\perp								\square
令和4年度	2022	文科		21	0046																				



		A.			B.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
井口 				人件費	特任研究員人件費	1.3
費目・使途 (「資金の流れ」において				雑役務費	会議議事録文字起し、ウェブサイト改修費	0.9
ブロックごとに最大の金額が支出されている者に				諸謝金	委員謝金	0.4
ついて記載する。費目と				消費税相当額	一般管理費	0.3
使途の双方で実情が分 かるように記載)		100万円未満の支出のため省略		一般管理費	消費税相当額	0.2
7 00 yr = 40 4777				消耗品費	OA関係消耗品	0
				通信運搬費	切手代	0
	計			計		3
	費目・使途欄に	ついてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別	紙2]に記載		チェック	

支出先上位10者リスト

A.

支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1 公益財団法人 文字·活字文 化推進機構	1010005017789	読書バリアフリーに向けた図 書館サービス研修	0.9	随意契約(企画 競争)	2	100%	-
2 国立大学法人大阪教育大学	2122005002494	読書バリアフリーに向けた図 書館サービス研修	0.9	随意契約(企画 競争)	2	100%	-

В

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率		ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	読書バリアフリーコンソーシア ム事業	3	随意契約(企画 競争)	1	100)%	-
	支出先上位1	0者リスト欄についてさらに	記載が必要な場合はチェックの	上【別紙3】に	記載		チェック		